

4

PATENT
Docket No. 325772015300
Client Ref. 530467

CERTIFICATE OF HAND DELIVERY

I hereby certify that this correspondence is being hand filed with the United States Patent and Trademark Office in Washington, D.C. on February 18, 2000.

Elizabeth K. Stenson
Elizabeth K. Stenson

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Atsushi ITO

Serial No.: New U.S. Patent Application

Filing Date: February 18, 2000

For: A PRINTER

Examiner: Unassigned

Group Art Unit: Unassigned

jc678 U.S. PTO
09/506453
02/18/00



SUBMISSION OF CERTIFIED FOREIGN PRIORITY DOCUMENTS

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

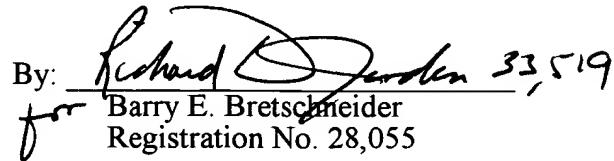
The filing papers claimed priority under 35 U.S.C. § 119 on the basis of Japanese patent application nos. 11 040015 and 11 040022, both filed on February 18, 1999. Pursuant to 35 U.S.C. § 119, certified copies of said Japanese patent applications are submitted herewith, thereby perfecting the priority claim.

- The issue fee has not become due for this application.
- The issue fee is due to be paid on *.
- The issue fee was paid on * and a petition requesting entry of the priority documents accompanies this submission.

The Assistant Commissioner is hereby authorized to charge any additional fees under 37 C.F.R. §§ 1.16 and 1.17 that may be required by this submission, or to credit any overpayment, to **Deposit Account No. 03-1952**.

Dated: February 18, 2000

Respectfully submitted,

By: 
for Barry E. Bretschneider 33,519
Registration No. 28,055

Morrison & Foerster LLP
2000 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20006-1888
Telephone: (202) 887-1545
Facsimile: (202) 887-0763

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年 2月18日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第040015号

出願人
Applicant(s):

ミノルタ株式会社

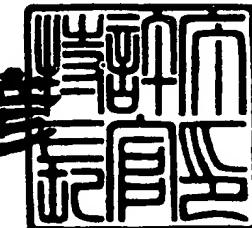
jc678 U.S. PTO
09/506453
02/18/00


CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年12月24日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆



出証番号 出証特平11-3090391

【書類名】 特許願
 【整理番号】 161247
 【提出日】 平成11年 2月18日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 G06F 3/12
 【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル ミノルタ株式会社内
 【氏名】 伊藤 敦史
 【特許出願人】
 【識別番号】 000006079
 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル
 【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社
 【代理人】
 【識別番号】 100062144
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 青山 篤
 【選任した代理人】
 【識別番号】 100086405
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 河宮 治
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 013262
 【納付金額】 21,000円
 【提出物件の目録】
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

特平11-040015

【包括委任状番号】 9808001

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 データ処理装置から送信されてきた送信元と出力先の情報が付された印刷j○b信号に基づいて印刷を行うようにした印刷装置において、

印刷j○b信号の送信元と該送信元に対応するメッセージを登録する登録手段と、

データ処理装置から送信されてきた印刷j○b信号を受信し、印刷を実行する印刷手段と、

上記受信した印刷j○b信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、

上記送信元が登録されているときにそれに対応するメッセージを出力するメッセージ手段とを備えたことを特徴とする印刷装置。

【請求項2】 各使用者を割り当てた複数の排出ピンを備え、

上記登録手段が上記使用者毎に送信元及び該送信元に対応するメッセージを登録してなり、

上記印刷手段が上記受信した印刷j○b信号の出力先の情報が示す使用者を割り当てた排出ピンに印刷物を排紙する一方、

上記判別手段が上記受信した印刷j○b信号の出力先の情報が示す使用者に対応して記憶されている送信元として上記印刷j○b信号の送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別するようになした請求項1記載の印刷装置。

【請求項3】 複数のデータ処理装置と、前記データ処理装置の1つから送信されてきた送信元と出力先の情報が付された印刷j○b信号を受信し、印刷を実行する印刷手段を有する印刷装置とを備えた印刷システムにおいて、

印刷j○b信号の送信元と該送信元に対応するメッセージを登録する登録手段と、

上記印刷j○b信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、

上記送信元が登録されているときにそれに対応するメッセージを出力するメ



セージ手段とを備えたことを特徴とする印刷システム。

【請求項4】 上記登録手段を上記印刷装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項5】 上記登録手段を上記データ処理装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項6】 上記判別手段を上記印刷装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項7】 上記判別手段を上記データ処理装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項8】 上記メッセージ手段を上記印刷装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項9】 上記メッセージ手段を上記データ処理装置に備えた請求項3記載の印刷システム。

【請求項10】 上記印刷装置は各使用者を割り当てた複数の排出ピンと、上記受信した印刷 $j \circ b$ 信号の出力先の情報が示す使用者を割り当てた排出ピンに印刷物を排紙する印刷手段とを有し、

上記登録手段が上記使用者毎に送信元及び該送信元に対応するメッセージを登録してなり、

上記判別手段が上記受信した印刷 $j \circ b$ 信号の出力先の情報が示す使用者に対応して記憶されている送信元として上記印刷 $j \circ b$ 信号の送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別するようになした請求項3記載の印刷システム。

【請求項11】 印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

印刷すべき印刷 $j \circ b$ 信号に付された出力先の情報に基づいて、複数の出力先それぞれに対応して予め登録された複数のメッセージから、何れかのメッセージを選択し、選択したメッセージを印刷システムに出力させるプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は印刷装置に関し、特に重要な印刷物が他の印刷物に紛れ込まないようとした装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、複数のホストコンピュータとプリンタとをネットワーク回線で接続し、いずれかのホストコンピュータからプリンタに印刷J○b信号を送信すると、プリンタでプリントを実行するようにした印刷システムが提案されている。

【0003】

例えば、ネットワーク環境において、複数の使用者が1台のプリンタを共用するようにしたシステムがある（例えば、特開平8-2790号公報、特開平8-2792号公報、等参照）。かかるシステムではプリンタが複数の排出ビンを備えていると、各排出ビンを使用者毎に割り当てるにより、各々のメールボックスのように利用でき、仕分け作業を軽減できるという利点がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記従来の印刷システムではプリンタに様々な送信元からの印刷J○b信号が届くと、知らないうちに印刷が実行され、重要な送信元からの印刷物も他の印刷物に紛れ込んでしまい、気付くのが遅くなるおそれがある。

【0005】

本発明はかかる問題点に鑑み、重要な印刷物が他の印刷物に紛れ込まないようとした印刷装置を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

そこで、本発明に係る印刷装置は、データ処理装置から送信されてきた送信元と出力先の情報が付された印刷j○b信号に基づいて印刷を行うようにした印刷装置において、印刷j○b信号の送信元と該送信元に対応するメッセージを登録する登録手段と、データ処理装置から送信されてきた印刷j○b信号を受信し、印刷を実行する印刷手段と、上記受信した印刷j○b信号から送信元を確認して

該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、上記送信元が登録されているときにそれに対応するメッセージを出力するメッセージ手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】

本発明の特徴の1つは印刷j○b信号の送信元及びこれに対応するメッセージを登録し、印刷J○b信号を受け取ると、印刷を実行するとともに、印刷j○b信号から送信元が登録されているかを判別し、登録されている場合には送信元に対応するメッセージを出力するようにした点にある。これにより、特定の送信元、例えば特定の人物からの印刷物を待っている場合、印刷完了と同時に、メッセージから重要な印刷物であることを知ることができ、他の印刷物の間に紛れ込むのを防止できる。

【0008】

データ処理装置は信号を処理して印刷j○b信号を出力するものであればどのようなものでもよいが、一般的にはホストコンピュータが用いられる。このデータ処理装置は1つでもよく、複数であってもよい。また、印刷装置は1つでもよく、複数であってもよい。データ処理装置と印刷装置との間はどのような手段で接続されていてもよく、例えばネットワーク回線で接続されることができる。印刷装置は排出ピンを備えるが、該排出ピンは1つでもよく、複数でもよい。複数の排出ピンを備えている場合、複数の各排出ピンに使用者を割当て、各使用者毎に送信元及びそのメッセージを登録すると、重要な印刷物が他の印刷物に紛れ込まないメールボックスとして利用できる。

【0009】

即ち、各使用者を割り当てた複数の排出ピンを備え、登録手段が使用者毎に送信元及び該送信元に対応するメッセージを登録してなり、印刷手段が受信した印刷j○b信号の出力先の情報が示す使用者を割り当てた排出ピンに印刷物を排紙する一方、判別手段が受信した印刷j○b信号の出力先の情報が示す使用者に対応して記憶されている送信元として印刷j○b信号の送信元が登録手段に登録されているか否かを判別するように構成するのが好ましい。

【0010】

印刷 j o b 信号は印刷データや印刷制御信号以外に、送信元を示す情報、さらに複数の排出ピンを備える場合には印刷物を排紙すべき排出ピンを特定する情報を含むことが肝要である。また、メッセージは音や音声でもよく、文字、例えば送信元の情報や印刷 J o b のタイトル等でもよい。特に、送信元に応じてメッセージやその出力方法を変えるようにすると、より一層利便性を向上できる。

【0011】

また、登録手段、判別手段、メッセージ手段は印刷装置内に設けてもよく、データ処理装置側に設けるようにしてもよい。即ち、本発明は複数のデータ処理装置と印刷装置とを含む印刷システムとして構成することもできる。

【0012】

本発明に係る印刷システムは、複数のデータ処理装置と、前記データ処理装置の1つから送信されてきた送信元と出力先の情報が付された印刷 j o b 信号を受信し、印刷を実行する印刷手段を有する印刷装置とを備えた印刷システムにおいて、上記印刷 j o b 信号の送信元と該送信元に対応するメッセージを登録する登録手段と、上記印刷 j o b 信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、上記送信元が登録されているときにそれに対応するメッセージを出力するメッセージ手段とを備えたことを特徴とする。

【0013】

また、プリンタドライバーをデータ処理装置又は印刷装置にインストールすることによって印刷システムに上述の処理を実行させることもできる。

【0014】

即ち、本発明によれば、印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、印刷すべき印刷 j o b 信号に付された出力先の情報に基づいて、複数の出力先それぞれに対応して予め登録された複数のメッセージから、何れかのメッセージを選択し、選択したメッセージを印刷システムに出力させるプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することができる。

【0015】



【作用及び発明の効果】

本発明によれば、データ処理装置から印刷 j o b 信号が送信されると、印刷 j o b 信号に基づいて印刷が実行される一方、印刷 j o b 信号から送信元が確認され、これが予め登録されていたか否かを判別して登録されている場合にはメッセージが出力される。

【0016】

従って、特定の人物からの印刷物を待っている場合、印刷完了と同時に、特定の人物からの印刷物であることを知ることができ、かかる印刷物が他の重要でない印刷物に紛れ込むのを防止できる。特に、重要な連絡が来る相手を設定する等、自分宛に届く印刷物に優先度をつけることもできる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を図面に示す具体例に基づいて詳細に説明する。図1ないし図10は本発明に係る印刷装置の好ましい実施形態を示す。図1は本例の印刷装置を含む印刷システム10の構成を示す。図1において、本例の印刷システム10はプリンタ（印刷装置）100と複数のホストコンピュータ（データ処理装置）200・・・とがネットワーク回線300で接続され、いずれのホストコンピュータ200・・・からでもプリンタ100に印刷 j o b 信号を送信して印刷できるようになっている。

【0018】

図2はホストコンピュータ200の機能ブロックを示す。ホストコンピュータ200はパーソナルコンピュータ本体210、各種の設定や指示を行うためのキーボード（登録手段）211、表示を行うためのディスプレイ212、登録内容を保持するメモリ213、各種の演算処理を行うCPU214、音声を出力するスピーカ215から構成されている。

【0019】

図3はプリンタ100の機能ブロックを示す。プリンタ100はプリンタ本体（印刷手段）110、各種の設定や表示をするためのオペレーションパネル（メッセージ手段、登録手段）111、登録内容を保持するメモリ（登録手段）11

2、演算処理を行うためのCPU（判別手段）113から構成されている。

【0020】

また、フロッピィディスク400はプリンタ100にインストールされるソフトウェアを記憶した記録媒体である。このフロッピィディスク400には図10にて後述するプリンタ100における処理が記憶されており、プリンタ100にインストールすることにより、印刷システム10に図10に示す処理を実行可能とする。

【0021】

図4はプリンタ100の外観を示す。プリンタ100では図4の(a)に示されるように装置本体120に複数の排出ビン121が設けられ、各排出ビン121には図4の(b)に示されるようにビン番号が付与されている。

【0022】

図5はプリンタ100の各排出ビン121毎に使用者を設定した例を示す。図5では排出ビン121のビン番号1に使用者A、ビン番号2に使用者B、ビン番号3に使用者C、ビン番号4に使用者D、ビン番号5に使用者Eと設定されている例が示されているが、他の各排出ビン121についても同様に設定される。これらの設定はホストコンピュータ200のキーボード211又はプリンタ100のオペレーションパネル111で行うことでき、設定情報はプリンタ100のメモリ112に保存される。

【0023】

図6は設定した各使用者毎に、送信元とメッセージの表示方法及び種類を設定した例を示す。図6では使用者Aに対しては送信元B、Dが設定され、メッセージの種類は送信元Bに対して音声2、送信元Dに対して表示3が設定され、又使用者Bに対しては送信元Dが設定され、メッセージの種類は表示1が設定されている。また、使用者Cに対しては送信元A、B、Dが設定され、メッセージの種類は送信元Aに対しては表示1、送信Bに対して表示2、送信元Dに対しては表示3が設定されているが、他の使用者についても同様に設定される。

【0024】

ここで登録されている送信元から印刷j o b信号が送られて来た場合、該送信



元に対応して設定された表示方法でメッセージを出力するようになっている。メッセージの種類は音、音声、表示等があり、メッセージの方法にはスピーカー、ダイアログ、E-mail、ステータスマニター等がある。これらの設定はホストコンピュータ200のキーボード211又はプリンタ100のオペレーションパネル111で行うことができ、その設定情報はプリンタ100のメモリ112に保存される。なお、メッセージが音や音声の場合、スピーカーを設ける必要があるが、プリンタ本体110には各種のメッセージを音で知らせるスピーカーが内蔵されていることがあるので、これを利用してもよい。

【0025】

例えば、使用者Aの場合、送信元Bから印刷J o b信号が送られてくると、それを音声（図6では“音声2”）で知らせ、送信元Dから送られてくるとダイアログ表示（図6では“表示3”）を行ない、それ以外の送信元から印刷J o b信号が送られてくると、何もメッセージを表示しない。

【0026】

図7は図5に示される排出ビン121に対する使用者A、B・・・の設定及び図6に示される送信元とメッセージの設定をホストコンピュータ100側で行う場合の例を示す。使用者に割り当てられた登録名に対し、使用排出ビン121のピン番号の設定、登録送信元に対するメッセージの表示機能を使用するか否かの設定、メッセージを表示する送信元の登録および出力方法を設定するようになっている。図7では登録名Aに対し、“使用ピン番号が1”、“機能を使用する”、“送信元登録者名がB、D”、“メッセージ種類が登録者名Bに対して音声2”、“登録者名Dに対して表示3”が設定されている。

【0027】

図8は図5に示される排出ビン121に対する使用者A、B・・・の設定及び図6に示される送信元とメッセージの設定をプリンタ100のオペレーションパネル111で行う場合の例を示す。使用者に割り当てられた登録名に対し、使用排出ビン121のピン番号の設定、登録送信元に対するメッセージの表示機能を使用するか否かの設定、メッセージを表示する送信元の登録及び表示方法を設定するようになっている。図8では“登録者1にB及び音声2が”、“登録者2に

D及び表示3”が設定され、“機能は有効”が設定されている。これらの設定はオペレーションパネル111のキーの組み合わせによって行うことができる。

【0028】

図9はダイアログ表示のメッセージ例を示す。図9では“印刷完了：D”、“登録者からの印刷j o bを受信し、印刷を完了しました。”、“印刷j o b送信者 D”的メッセージが表示されている。なお、この場合、印刷J o bのタイトルを表示するようにしてもよい。メッセージはプリンタ100のオペレーションパネル111に表示する。

【0029】

図10はプリンタ100における処理のフローチャートを示す。ホストコンピュータ200からプリンタ100に印刷j o b信号が送信されると、プリンタ100が印刷J o b信号を受信する（ステップS101）。この印刷j o b信号には印刷データ及び印刷制御信号の他に、送信元を示す情報及び印刷物を排紙すべき排出ビン番号の情報が含まれている。

【0030】

印刷j o b信号を受信すると、プリンタ100は受信した印刷J o b信号から印刷物の宛先、即ち出力しようとする排出ビン121のピン番号を確認し（ステップS102）、印刷j o b信号に基づいて印刷を実行し、該当する番号の排出ビン121に印刷物を排紙する（ステップS103）。

【0031】

次に、メモリ112の記憶内容と上記確認した印刷物の宛先であるユーザ名とから、登録されている送信元登録者名を確認し（ステップS104）、印刷J o b信号の送信元が送信元登録者名の中に含まれているかどうかをプリンタ100のCPU113にて判定する（ステップS105）。登録されている場合、その登録内容に従ってメッセージを表示し（ステップS106）、処理を終了する一方、登録されていなければメッセージを表示せず、処理を終了する。なお、印刷前にメッセージ処理を行うこともできる。

【0032】

図11は本発明に係る印刷システム10の他の実施形態を示す。本例の印刷シ

システム10ではプリンタ100とプリントサーバー用コンピュータ（データ処理装置）201とが接続され、プリントサーバー用コンピュータ201と複数のホストコンピュータ200・・・とがネットワーク回線300で接続されている。何れのホストコンピュータ200・・・からでもプリントサーバー用コンピュータ201を経由して、プリンタ100に印刷j o b信号を送信して印刷できるようになっている。

【0033】

本例では前述した登録手段、判別手段、メッセージ手段はプリントサーバー用コンピュータ201に設けることができる。即ち、プリントサーバー用コンピュータ201のキーボード211を利用し、送信元及び送信元に対応したメッセージを出力先毎にメモリ213に登録する。ホストコンピュータ200・・・の何れかから印刷j o b信号が出力されると、プリントサーバー用コンピュータ201のCPU214によってその出力先に対応した送信先がメモリ213に登録されているか否かが判断され、登録されていれば、ディスプレイ212に対応したメッセージが表示される。

【0034】

上記では登録手段、判別手段、メッセージ手段はプリントサーバー用コンピュータ201に設けるようにしたが、登録手段、判別手段、メッセージ手段は複数のホストコンピュータ200の各々に設けるようにしてもよい。

【0035】

即ち、複数のホストコンピュータ200・・・の各々のキーボード211を利用し、送信元及び送信元に対応したメッセージをホストコンピュータ200の各々のメモリ213に出力先毎に登録する。ホストコンピュータ200・・・の何れかから印刷j o b信号が出力されると、その印刷j o b信号の出力先に対応したホストコンピュータ200に情報が伝えられる。その情報から、送信元のホストコンピュータのCPU214によってその出力先に対応した送信先がメモリ213に登録されているか否かが判断され、登録されていれば、送信元のホストコンピュータ200のディスプレイ212に、対応したメッセージが表示される。

【0036】

また、プリントサーバー用コンピュータ201を複数のホストコンピュータ200と同様の使い方をし、登録手段、判別手段、メッセージ手段をプリントサーバー用コンピュータ201にも設けるようにしてもよい。

【0037】

以上、本発明に係る印刷システムの実施形態について説明してきたが、本発明は上述の実施の形態に限定されないのは勿論であり、特に登録手段、判別手段、メッセージ手段は各々データ処理装置及び印刷装置のどちらにあってもよい。また、フロッピーディスク400はホストコンピュータ200又はプリントサーバー用コンピュータ201にインストールすることにより、印刷システム10に図10で示した処理を実行可能としてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る印刷システムの好ましい実施形態を示す構成図である。

【図2】 上記印刷システムにおけるホストコンピュータの構成を示す機能ブロック図である。

【図3】 上記印刷システムにおける印刷装置の構成を示す機能ブロック図である。

【図4】 上記印刷装置の外観及びその排出ピンを示す図である。

【図5】 上記排出ピンに対する使用者の設定例を示す図である。

【図6】 上記使用者についての送信元及びメッセージの設定例を示す図である。

【図7】 上記ホストコンピュータにおいて図5及び図6の内容を設定する方法の1例を示す図である。

【図8】 上記印刷装置において図5及び図6の内容を設定する方法の1例を示す図である。

【図9】 印刷完了後に表示されたメッセージの1例を示す図である。

【図10】 上記印刷装置の処理のフローチャートを示す図である。

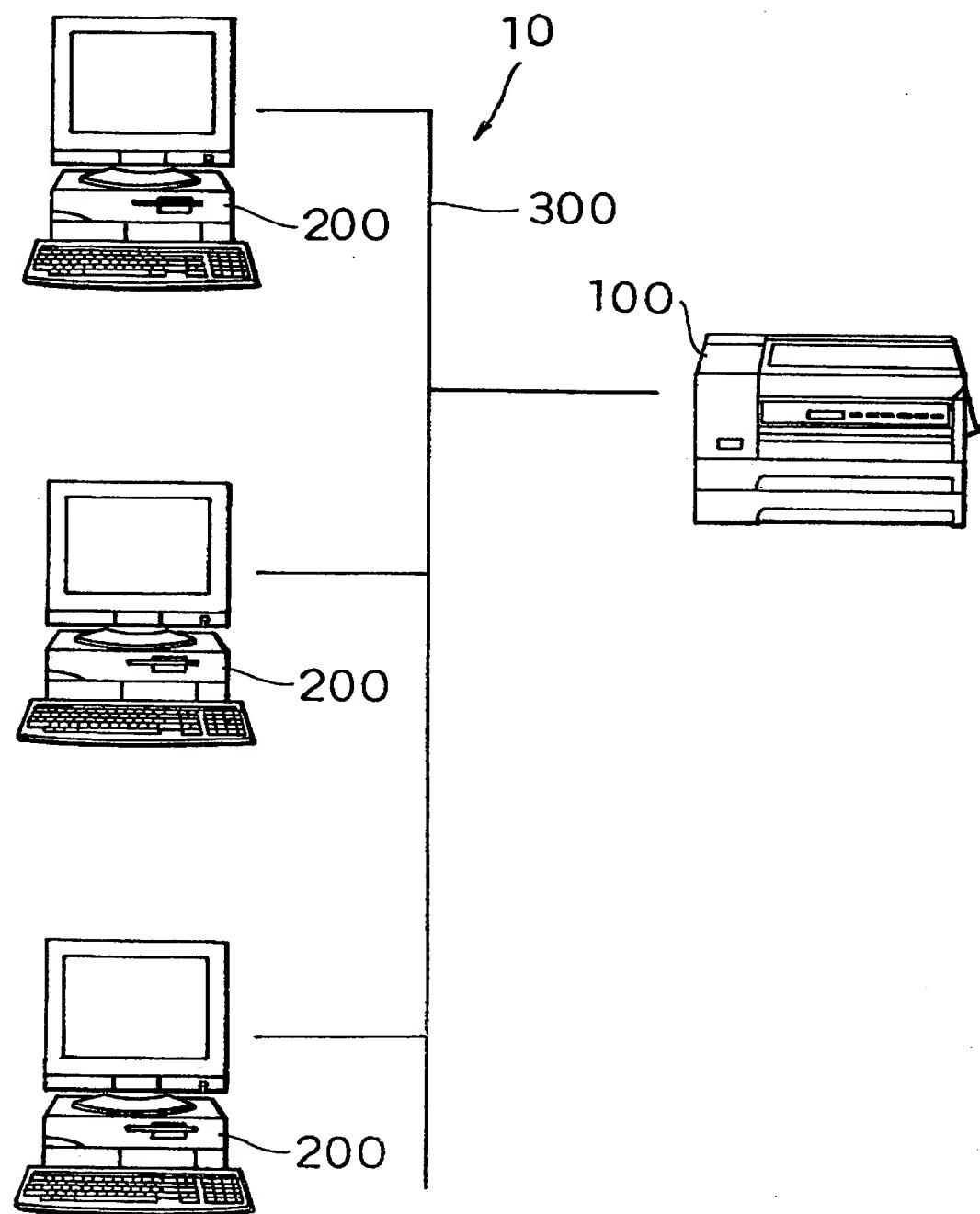
【図11】 本発明に係る印刷システムの他の実施形態を示す図である。

【符号の説明】

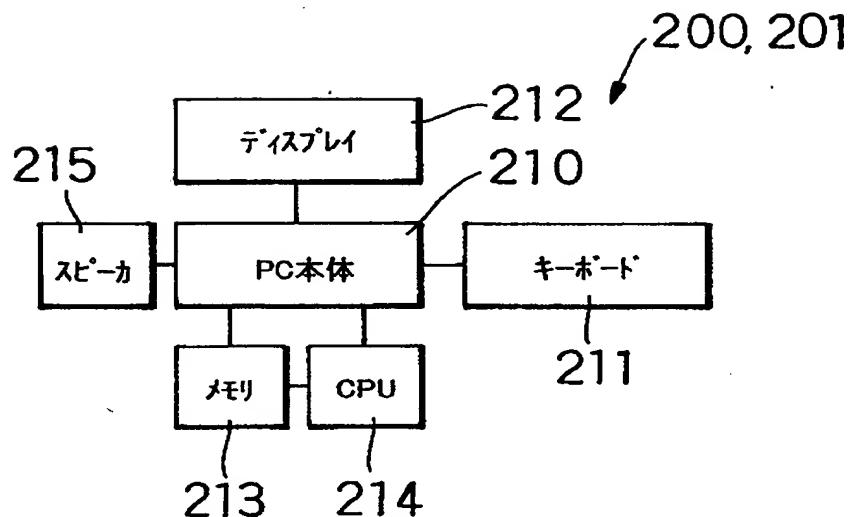
- 1 0 印刷システム
- 1 0 0 プリンタ（印刷装置）
- 1 1 0 プリンタ本体（印刷手段）
- 1 1 1 オペレーションパネル（メッセージ手段、登録手段）
- 1 1 2 メモリ（登録手段）
- 1 1 3 C P U（判別手段）
- 2 0 0 ホストコンピュータ（データ処理装置）
- 2 0 1 プリントサーバー用コンピュータ（データ処理装置）
- 2 1 1 キーボード（登録手段）
- 2 1 2 ディスプレイ（メッセージ手段）
- 2 1 3 メモリ（登録手段）
- 2 1 4 C P U（判別手段）
- 4 0 0 フロッピィーディスク（記録媒体）

【書類名】 図面

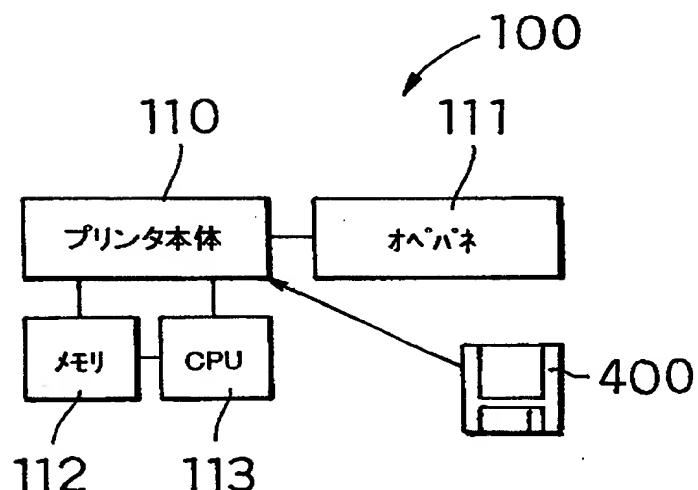
【図1】



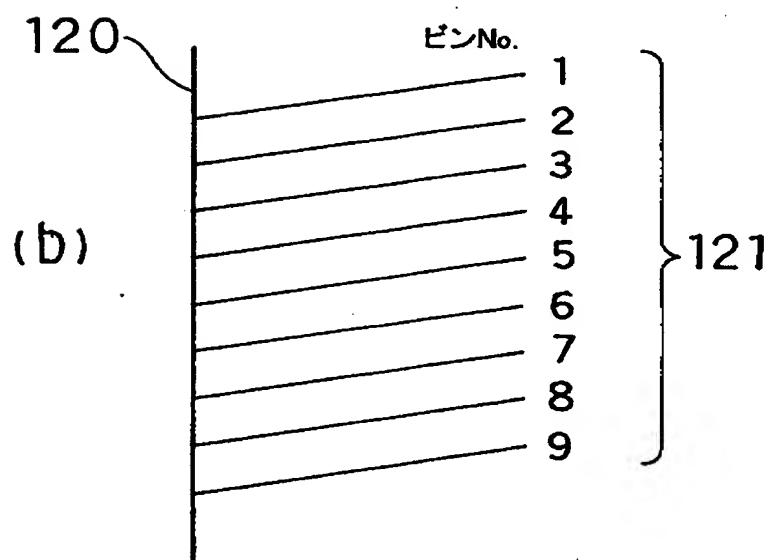
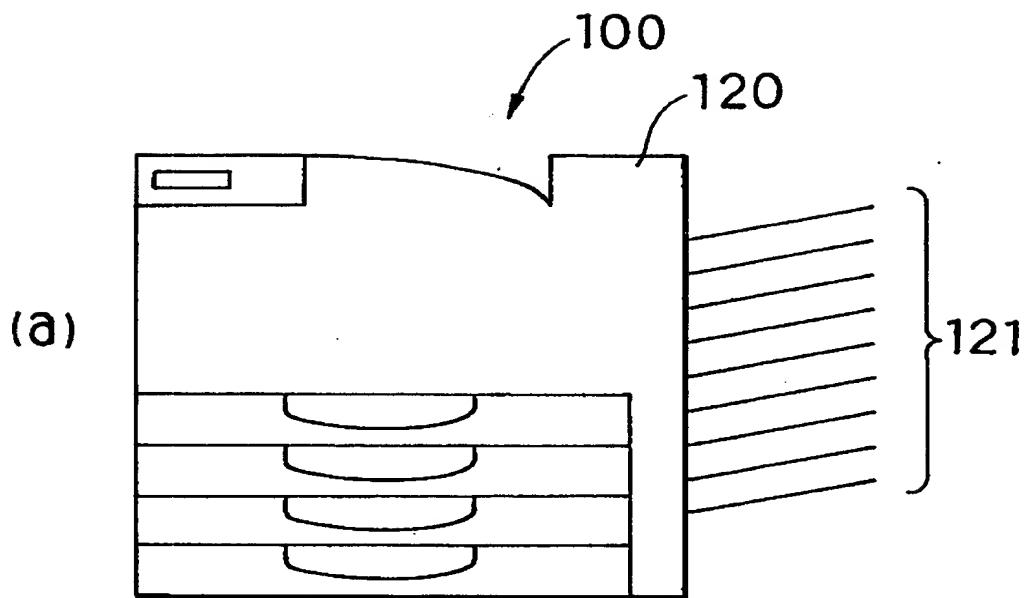
【図2】



【図3】



【図4】



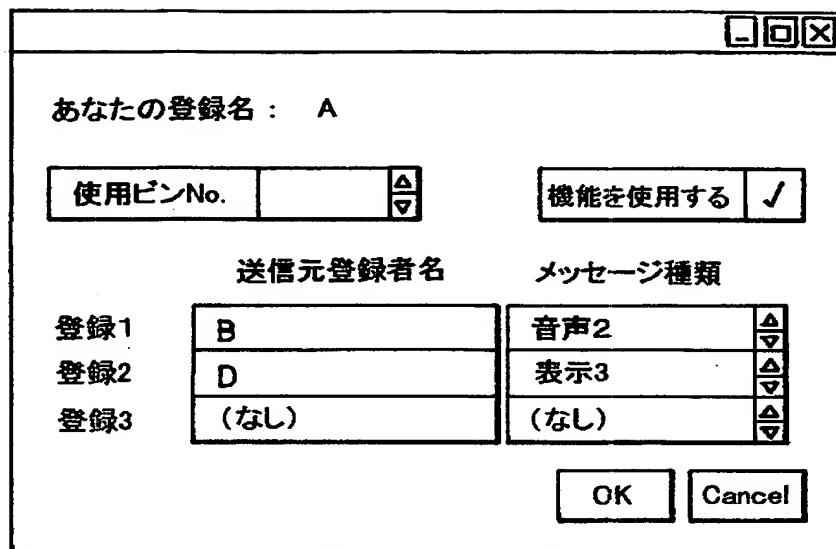
【図5】

ピンNo.	使用者名
1	A
2	B
3	C
4	D
5	E

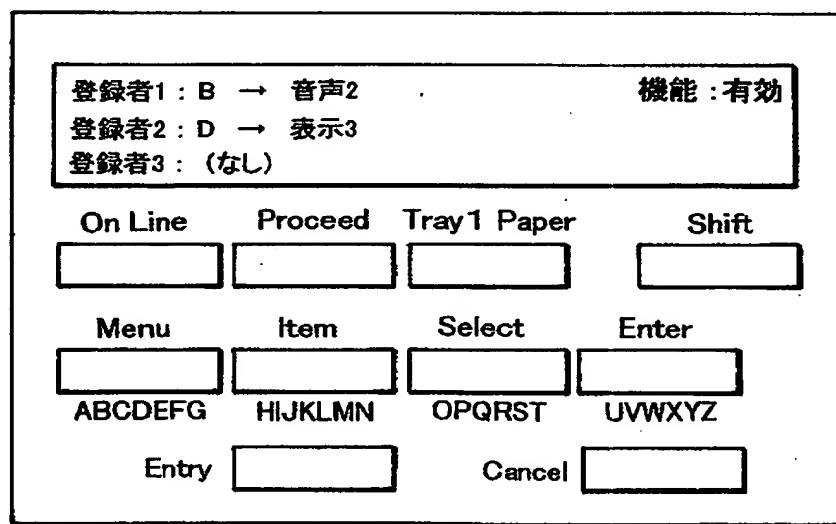
【図6】

使用者	送信元登録者名	メッセージ種類
A	B	音声2
	D	表示3
B	D	表示1
C	A	表示1
	B	表示2
	D	表示3

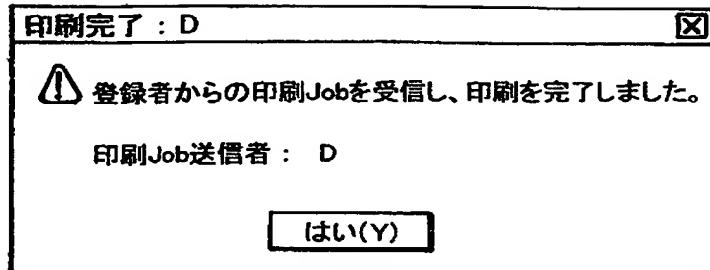
【図7】



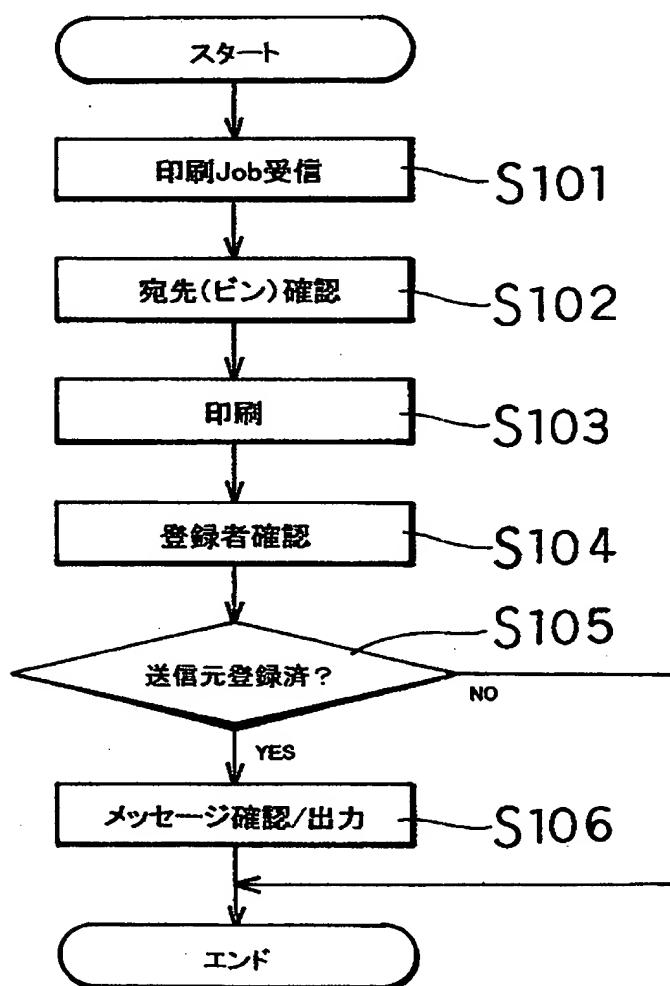
【図8】



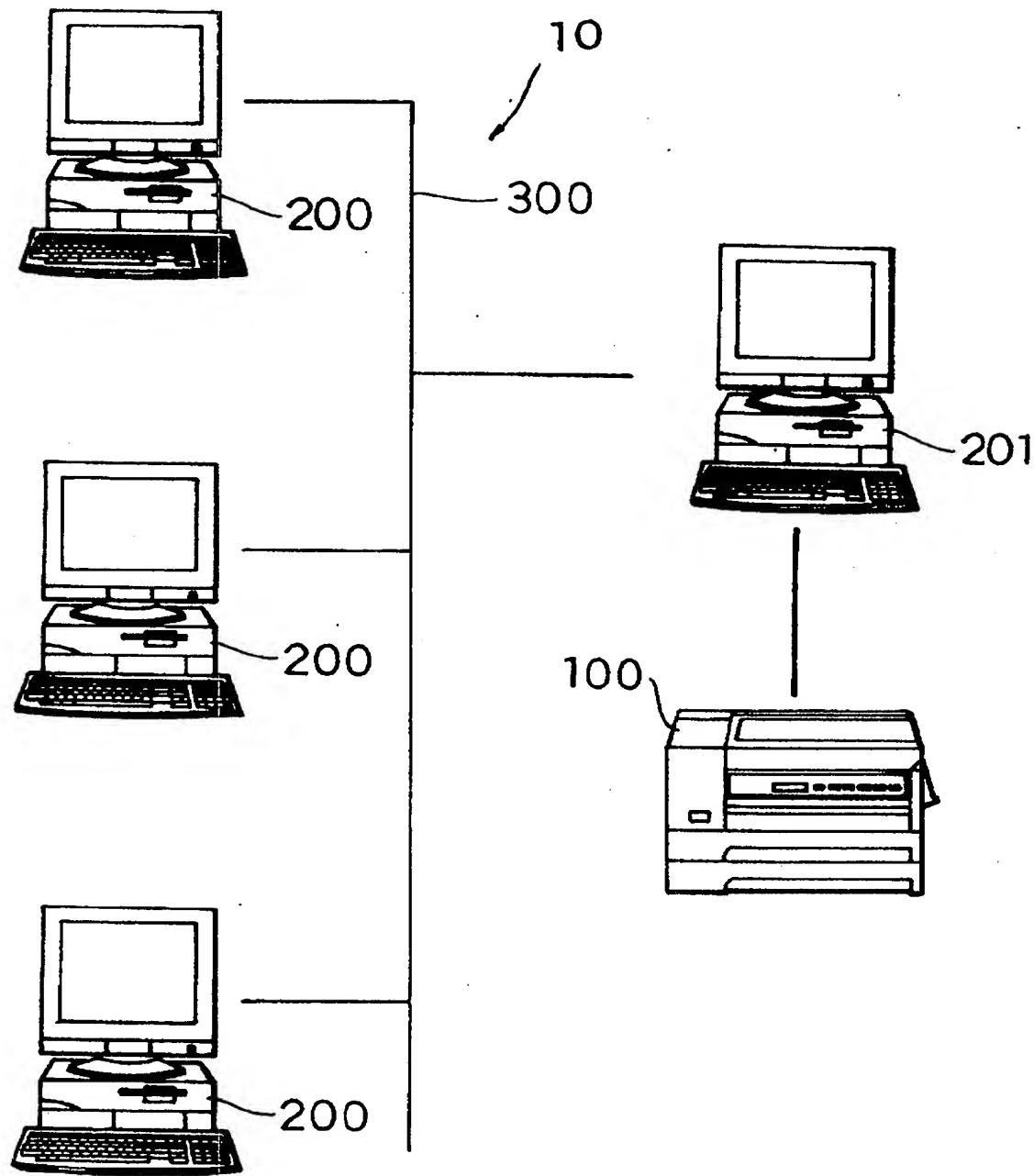
【図9】



【図10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 意図しない送信元からの印刷物を受け取るのを拒否し、重要な印刷物が他の印刷物に紛れ込むのを防止する。

【解決手段】 データ処理装置(200)から送信されてきた印刷 j o b 信号に基づいて印刷を行う印刷装置(100)において、登録手段(111,112)に印刷 j o b 信号の送信元と該送信元に対応するメッセージを登録し、受信した印刷 j o b 信号から送信元が登録されているか否かを判別手段(113)で判別し、送信元が登録されているときにはメッセージ手段(110,111)でメッセージを出力する。

【選択図】 図10

出願人履歴情報

識別番号 [000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル
氏 名 ミノルタ株式会社